

行政視察報告書

令和 4年 1月31日
会派名 江南市議会議員
会派代表者 尾関 昭

(参加者： 尾関 昭)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 4年 1月12日 (水)
視察時間	10:00~11:30
視察先	三重県桑名市選挙管理委員会 (桑名市役所内)
視察項目	期日前投票所について

行政視察報告書

①

年月日	令和 4年 1月12日 (水)
視察時間	10:00～11:30
視察先	三重県桑名市選挙管理委員会 (桑名市役所内)
視察項目	期日前投票所について
<p>■目的</p> <p>市民の政治離れは選挙における投票率の低下からみても如実な事象だが、本来あるべき市民の為の行政を取り戻すためには、より多くの市民に市政全般を知っていただき、また関わっていただく必要があります。その根底の部分に市民の投票行為をいかに時代のニーズに合わせて、かつ現行法規の中で可変させていくかという課題があります。これは選挙を担う行政側の課題であり必ず改善していく必要があることだと思います。本視察においては、先駆的に様々な取組を実施している行政機関より学びの機会を得ましたので、当市でも今後、利活用できる事を探求するために、多くの実績をご教授いただきながら研究していく事としました。</p>	
<p>■内容</p> <p>総務部次長 兼 総務課長 山口 勝國 様 総務部総務課 主査 (選挙管理委員会 書記) 竹内 聡 様</p> <p>①選挙改革におけるプロジェクトチーム (PT) の発足 中堅・若手職員の中から改革への理解と熱意のある者を選任し、令和元年10月に発足 ・普及啓発チーム3名・投票所チーム3名・開票所チーム4名で構成</p> <p>②期日前投票所の追加 ～市長選～ バスによる移動式期日前投票所の設置 投票所廃止地域の代替措置 桑名駅東口・東西自由通路に設置 (市内5高校に対し協定を結ぶ取組) サンシティへ常設の期日前投票所の設置 ～県知事選～ Aコープ長島店より同敷地内の営農センター倉庫に変更 ～衆院選～ 桑名駅自由通路に設置</p> <p>③各高校等の協定 従前から依頼があれば出前授業や模擬投票を行ってきたが、今後は生徒自身に選挙時の事務従事ボランティアを体験してもらったり、主権者教育を実施してもらったりなどして選挙に触れてもらい興味や関心を高めてもらう事を狙っている。</p>	

④市内中学生が主体となった選挙啓発

中学生がモデルとなった選挙啓発ポスターの作成。

広報車の選挙啓発アナウンスを、中学生自ら文面を考えて、中学生の声を吹き込んだエンドレステープとして作成、活用された。

市内全戸配布のフリーペーパーに違うレイアウトをした選挙啓発広告を掲載。

⑤投票所の見直し

近年における酷暑の夏、厳冬の冬など、立会人の高齢化も進み、また体育館等の冷暖房が完備されていない投票所は過酷な環境下となっている。

先ずは体育館投票所においては距離が近い拠点施設等に変更。(6か所)

国の施策により冷暖房が完備された小学校の普通教室へ変更。(1か所)

仮設(プレハブ)の投票所の廃止

移動式投票所を設置(Aコープ長島店駐車場にて)(2年程度で見直しを行う予定)

⑥公募による立会人の選任

断られることが多く非常に苦慮していたことから、一般公募を行い、現在では約70人の方が登録されている。(実際は約半分程度の登用)(地区によっては地元区の総意により従前の方法も約半数で行われている)

⑦市運行バス(コミュニティバス)の無料化

コミュニティバスを利用した投票を行った方にはバスの運賃が無料になる。

行きは降車時に投票所入場券提示、帰りは降車時に投票済証を提示。

⑧その他

バス車両や駅の自由通路を用いた期日前投票所設置の経緯

⇒何かのついでに投票をしてもらおうという発想に基づいた

期日前投票所の各施設の交渉について

⇒駅の自由通路の取り扱いについては協定が結ばれているが、JR側の意向もあり毎日の設置・撤去を行っているのが実情

期日前投票所を拡大していく際にチェックすべきこと

⇒投票人名簿確認のための通信手段が、「無線」である事が必要となり、市の条例がそれを満たすように改正していく必要がある

■所感

特に⑥の公募による立会人の選任は、どんな行政でも直ちに取りかけられる手法であり、地域社会の超高齢化を見据えた事例だと感じた。また、期日前投票所の取組についても柔軟な発想により実行され現在に至っており、投票率低下の改善や主権者としての投票行為に対する意識付けに大いに貢献している事業である。中高生への意識付けは将来の政治参画への一歩と考えることも出来、いわゆる種まきの必要性も同意できた。